

ハイブリッド手術室のご紹介

地域連携部長（副院長） 小林 秀

新病院では、9室に増加した中央手術室内にハイブリッド手術室を設置しました。手術野がNASA基準100の清潔度を保つ室内環境で、透視や血管造影の操作に対応できるカーボン製（X線を透過する）の手術台に、高性能の透視・撮像機能を有し3D再構成機能やCT様画像作成能等の優れた機能を持つ血管撮影装置を配備しました。外科手術と血管内治療を組み合わせたハイブリッド手術などの低侵襲手術を行っています。

1、ハイブリッド手術

- ハイブリッド手術として、腹部大動脈瘤に対するステントグラフト挿入術が現在盛んに行われています。透視可能なベッドと優れた血管撮影装置を利用して、治療に必要な外科手術と血管内手術を同時に施行することが可能です。また、胸部大動脈瘤に対するステントグラフト挿入術も始まっています。いずれの場合も、開腹あるいは開胸手術より遥かに低侵襲な手術となり手術成績の向上が図られます。
- 閉塞性動脈硬化症に対するバイパス術（手術）とバルーン拡張術（血管内治療）の同時施行が必要な症例に対応が可能となりました。
- 心臓疾患では、大動脈狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）の導入の準備を進めています。

2、各種血管内治療

- 脳神経外科領域では、破裂脳動脈瘤に対する全身麻酔下のコイル塞栓術（脳血管内手術）が、手術室内の環境で高性能血管撮影装置を用いて、安全で確実に行われています。開頭クリッピング術より低侵襲です。
- 内頸動脈狭窄症に対するステント留置術や急性期脳梗塞に対する脳血管内血栓回収術（何れも血管内手術）を、麻酔下あるいは局所麻酔下にて十分な患者管理のもとに施行しています。

3、その他

- 肝臓がんに対する抗がん剤動脈内投与などが安全に施行可能です。
- 部屋の利用に余裕がある場合は、一般の手術室としても、あるいはカテーテル検査室としても、使用することができます。

ハイブリッド手術室内の様子



在宅医療連携病床のご案内

在宅医療連携病床担当 砂川 昌子

近年、急性期病院の在院日数短縮化に伴い、医療依存度の高い患者さんの在宅療養が増えています。また住み慣れた自宅で人生の終末期を過ごすことを望む患者さんやご家族も多くなってきています。そのため在宅医療を提供する地域の医療機関とそれを支援する後方病院との連携がますます重要となっています。

在宅医療連携病床とは

当センターで新設された在宅医療連携病床は、在宅医療を行っている連携医（在宅医療連携病床医療機関登録が必要）を支援する病床です。現在連携医の訪問診療を受けており、今後ご自宅での療養生活を希望され、当センターの入院・通院歴がある、または連携医から事前に診療情報提供いただいている患者さん（登録制）が対象です。

当病床ができること

連携医の要請により入院できる病床で、原則2週間以内の入院で、低栄養、褥瘡、摂食嚥下機能の評価および、疾患の病状評価を行います。レントゲン検査、血液検査などによる全身状態の把握と連携医の要請に応じたCT等の画像検査や生理機能検査もいたします。病状評価の結果、専門的な治療が必要と判断された場合は専門科へ紹介し、入院のまま転科あるいは入院予約後ご自宅で待機となります。終末期の高齢患者さんにはエンド・オブ・ライフケアに基づいた看取りも含めた診療方針決定への援助をいたします。

退院前合同カンファレンス・介護支援連携カンファレンスを開き、ご家族と地域のケアスタッフに集まっていただき、病状や診療方針を共に理解し、患者さまを中心とした介護支援体制の調整をしていきます。

医療依存度が高くショートステイが利用出来ない方には、レスパイトを兼ねた入院や、介護者の体調不良時の一時的な入院にも柔軟に対応します。入院の際、有料個室のご利用をお願いする場合がございますので予めご了承ください。

※なお患者さんの病状急変による緊急入院については、救急外来で対応いたしますのでご理解の程、お願いいたします。

これまでの症例

- ① 褥瘡の患者さん⇒ご家族への褥瘡処置の指導、栄養状態改善の為に短期経腸栄養施行
- ② 全身疼痛、食欲不振の患者さん⇒画像検査等で悪性腫瘍の診断、緩和ケアを提案し、在宅看取り体制を調整
- ③ ADL低下した患者さん⇒頭部CTで脳血管障害を診断、認知症もあり在宅リハビリを提案
- ④ 脳血管障害後遺症で寝たきり・胃ろう・気管切開後の患者さん⇒喉頭閉鎖術の適応あり耳鼻科転科、術後経口摂取再開
- ⑤ 認知症終末期で嚥下障害の患者さん⇒人工栄養管理は行わず、在宅看取り体制を調整

※患者さんの最善の医療をご家族と共に考え、個別に対応していきます。

説明会のご案内

場 所	東京都健康長寿医療センター 3階第3会議室 AB
日 時	第1回 平成25年9月24日(火) 20:00~21:00 第2回 平成25年9月25日(水) 13:30~14:30



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

アクセス

- 東武東上線「大山」駅下車、南口・北口より徒歩4分
- 都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車A2出口より徒歩11分

また、お車でお越しの方に駐車場（駐車料無料）も御用意しておりますが駐車台数に限りがあるため、あらかじめご承知おきください。

